

# 吹田の乱開発状況、ストップするのは誰か？

## 千里の湯は？

まずは千里丘の毎日放送跡地へ。丘を上がると、かつての「千里の湯」は、無残に取り壊され、雑草が生い茂る中、「JR千里丘駅行き」



①千里の湯跡地。JR千里丘駅へのバス停が見える

のバス停が残っている。この「千里の湯」はスーパー銭湯の草分け的存在。入浴料1200円と、ちょっと高めだったが、竹垣に囲まれた日本庭園風のお風呂で、利用された方も多かったのでは？

## エキスポランドの観覧車も役割を終え？

千里の湯を後に、急坂を上りきると、かつての「ミリカプール」が見えてくる。あ、なんとこのプール、その



②埋め立てられたミリカプール

使命を終えて土砂で埋め尽くされている。プールの背後にエキスポランドの観覧車が見える。2007年のあの痛ましい事故以来、エキスポランドの観覧車もミリカプールと同様にその役割を終えてしまうのだろうか。

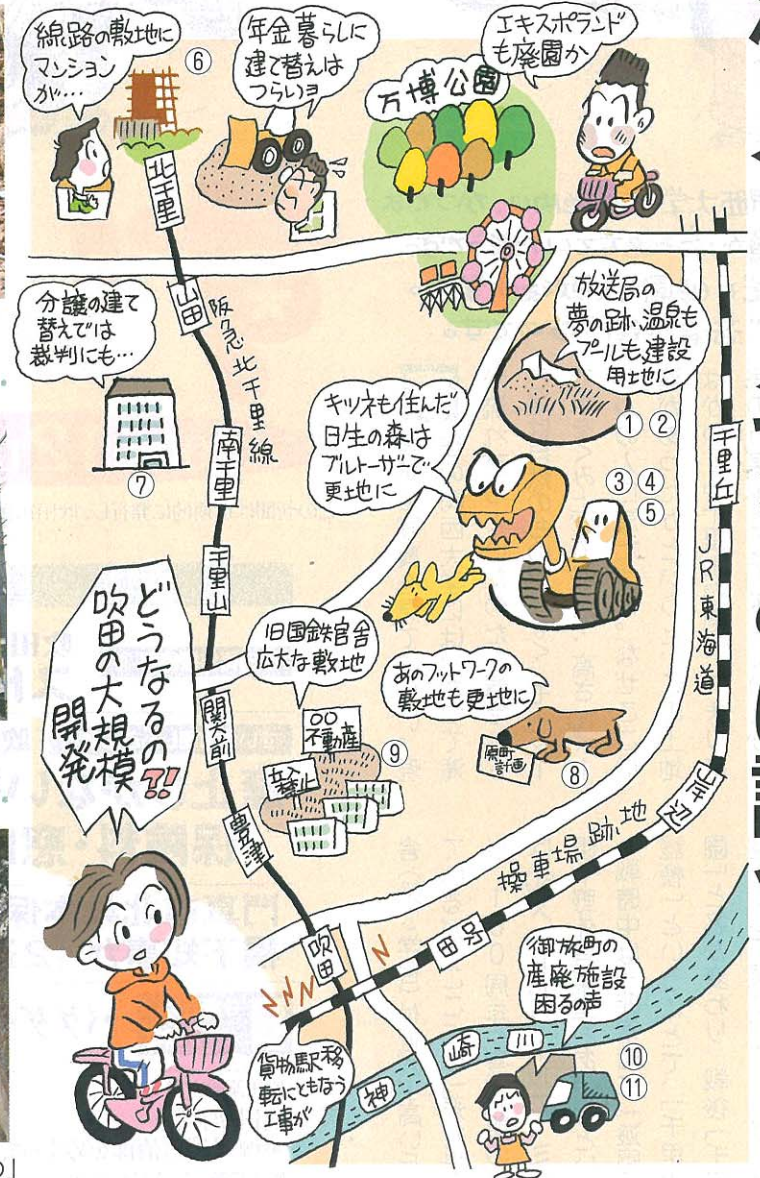
## キツネはどこへ？

毎日放送跡地からすぐそば、「日生の森」も「かつて森だった場所」に変化している。「日生の森」は、吹田市の残された貴重な「自然の里山」で、なんとキツネが生息していたのだ。

「森を壊さないで」。地元住民の声は届かず、この数年で様変わり。森は無残に



③キツネはどこへ行ってしまったのだろうか？



④「キツネの森」はマンションに様変わり

切り開かれてしまった。はたしてキツネはどこへいったのだろうか？



⑤緑のネットワークルートが「工事の」ネットワークルートに

## 約束が違う？

千里丘地域を後に、千里ニュータウンへ。北千里駅の北側、つまり箕面市側に上っていくとトタン板で囲われた工事現場。(写真⑥)ここはもともと阪急電車の



⑥阪急の線路地予定が住宅に

地跡地へ。ここは藤白台3丁目になるが、大規模な公社建替工事が予定されているのだ。住宅供給公社は、ニュータウンの公社団地を次々と高層化し、それによって生まれた余剰地を売却して、赤字返済に充てようとしている。しかしちょっと待ってほしい。公社が赤字になったのは、バブル期に無理な開発をして、巨額の予算をつぎ込んだからだ。長年住み慣れた団地を追われる人々。建替えには賛成の人も反対の人もいる。住民の意見が反映されるまで十分な議論がされたのだろうか？

## 桃山台の公園は裁判に

典型的な例が、桃山台の



⑦もつれにもつれた桃山台公園団地の建替え

地になって、「原町計画」と称したマンション建設が進む予定だ。原町・岸部地域も開発が進み、急速に緑が少なくなった。この跡地が公園になれば、緑が確保できるだろうが、現実にはマンションばかりが建設されていく。



⑧フットワーク跡地も巨大なマンションになりそう

公園団地ではないだろうか？(写真⑦)この団地は賃貸ではなく分譲で、早くに建て替えが決まったのだが、建替え反対の住民と開発業者の間で裁判になったのは有名な話。



⑨JR片山官舎跡地は取り壊しの運命だ

千里ニュータウンを後に、岸部地域へ。産業道路沿いに大きな空き地。かつてのフットワーク跡地だ。写真⑧で見ると、ここも更

## JR片山官舎も取り壊し

産業道路をJR吹田駅側に行くと、左にアサヒビール工場、右手にJR片山官

舎が見えてくる。この片山官舎も取り壊しが決定。今は写真⑨のように官舎の入り口にはベニヤ板。この広大な敷地にも開発の波が押し寄せている。

## 産廃施設はアカン

最後は吹田市の南端、東御旅町の産廃施設だ。写真⑩のように、産廃処理中間施設が完成し、営業開始の日が迫っている。住民たちは「トラックいっぱいくるのいやや！」と声を上げて



⑩問題の産廃処理施設



⑪トラックいっぱいくるのいやや! 住民たちの闘いは続く

いるが、吹田市が建設許可を出し、大阪府が営業許可を下ろしてしまっただけ。営業が始まれば、吹田市始まって以来の産廃施設となる。以上、吹田市の開発状況をざっと見てきたが、今行われているのは「乱開発」といべきもので、本来は吹田市、大阪府がどこかで止める、あるいは修正すべきものであったと感じる。削られていく森や、壊される団地、ひっそりと営業を待つ産廃施設を見ながら、「いったい行政の役割は何だ?」と、今さらながら無念さがこみ上げてきたのだ。

## 公社の赤字はバブル期 無理な開発のつけ

青山台を後に、北千里駅前。大阪府住宅供給公社の「団